

普通徴収が278万3320円(48人)で、滞納はありません。介護保険料の収納額については、特別徴収が5953万8000円(1030人)、普通徴収が27

4万8600円(73人)、滞納額が17万9000円(8人)です。国民健康保険料の収納額については、特別徴収1004万3200円(94人)、普通徴収7443万1400円(532人)、滞納額は125万2900円(14人)です。

③滞納者への対応や処置はどのような対策をとっていますか。また、不納欠損処分の手続きや方法をお聞かせください。

答弁 滞納者へは、文書や電話、臨宅による納付交渉(分納誓約)、資産調査(預貯金・給与)を行っております。また、滞納者との面会の機会を増やすことにより、保険料の納付の促進を図るため、短期被保険者証の交付を行っております。

不納欠損処分は、東秩父村会計規則第27条により「欠損処分をしようとするときは、欠損処分の理由及びその調査の結果を記載した欠損処分調書を添付した欠損処分伺いにより村長の決裁を受ける」となっております。

④国民健康保険料が確保されない場合、一般会計からの繰入金

が必要になります。現在の財政状況から、特別会計ほどの程度の繰入が可能限度額と考えていますか。

答弁 どの程度まで繰入可能かについては、一概に判断できませんが、埼玉県内の平均額等から一人当たり1万5000円前後までは止むを得ないと考えております。

⑤ますます厳しくなる国民健康保険料や介護保険料についての手だてをどのように考えていますか。

答弁 国保税や介護保険料の上昇を抑えるには、医療費や介護費用の増加を抑えることが重要になると思います。住民が健康であれば、医療費や介護にかかる費用は抑えられるわけですので、住民の健康維持や介護予防に関する事業の充実を図らなければならぬと考えます。現在、保健センターや地域包括支援センターでは、運動教室や各種介護予防事業を行っておりますが、これらの事業を継続していくことにより、医療費抑制、保険料等の抑制を図ることができればと考えています。

⑥国民健康保険の一元化構想についてどのように考えていますか。

答弁 広域化が実現できれば、

市町村の枠を超えて県内の被保険者が医療費を負担し合うことになり、県内どこに住んでいても「同じ所得なら保険料は同じ額」となるための保険料算定方式になるものと思います。課題も出てきますが、広域化で保険料が大きくなることにより、安定した事業運営ができるものと考えますので、東秩父村としても広域化の実現を望みます。

吉田英夫議員

質問 東西小学校統合後の通学費負担の軽減について

(内容) 西地区の児童は通学距離が変わるため、生活が一変し、東地区の児童との体力的な負担に大きな差が生じます。このことも考慮し、経済的な負担をかけるないことを考えていただきたい。村の考えを伺います。

答弁 現段階で具体的に決定しているものはありませんが、基本的には公共交通機関の利用を中心に、時間や費用負担の軽減を図ることができないか、検討課題と考えております。

質問 東秩父村の各公共施設の契約電力は適正ですか。平成22年度の各施設の契約電力、年間最大電力量(月)、最大値の電料金(月)について伺います。

答弁 公共施設の電力契約については、施設の規模や利用目的

によって契約形態が異なっています。高圧電力による実量制の契約によるものが、役場庁舎、東西小学校、中学校および保健センターです。生きがいセンターと東秩父村ふるさと館(旧大内沢分校)は低圧電力と従量電灯Cの2種類の契約を行っており、旧白石分校においては従量電灯Cの契約のみとなっております。平成22年度の各公共施設の契約電力等は別表のとおりです。

栗島正道議員

質問 村道1号線の安全対策について

(内容) 東小学校と和紙の里、深沢の交差点までの間に歩道がなく、大変危険です。歩行者の安全という観点から、村の考えを伺います。

答弁 この件に関しましては、平成21年12月15日の議会で、歩道を造らないのではなく、造ることができなかったと答弁しております。自転車歩行者道を整備する場合は、ある程度の幅員が必要となり、この区間には東京電力の鉄塔が道路の左右にあり、それを回避することになると、村道を横断しなければならなくなり、かえって危険になります。また、鉄塔の合い向かいには一般の人家や村営住宅も建

設されており、実施は困難な路線状況です。

質問 村道1号線の防犯灯切替えによる節電効果について

(内容) 今後、村内の防犯灯を順次LEDに替えていくのか、また、村道1号線で現在どの程度の節電効果があるか伺います。

答弁 今後は、現行の器具が故障した場合、また、新規設置などの要望や必要性を考慮し、予算の範囲内でLED防犯灯への切替えを進めていきます。また、節電効果については、単純計算で、更新前が1320W、更新後が476Wですので、844Wの節電となり、節電率は64%になります。

福島重次議員

質問 中学校の武道教育について

(内容) 平成24年度から中学校で武道教育が必修となります。今の子どもたちには、日本の大切な礼儀・しつけ等の文化が十分に伝わっていないように感じられるため、この教育を充実し、心身ともに成長される教育を願っております。

①武道教育の東秩父村教育委員会の指針をお願いします。

答弁 教育委員会の指針としては、伝統文化教育は重要な課題ととらえ、かなり以前から本村